

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 鹿嶋市立平井小学校 】

1 実践テーマ	Ⅱ ・ Ⅲ ・ Ⅴ
2 実施対象者 (学年・人数)	第5学年：51名 第6学年：61名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (特別活動) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピック競技等の障害者スポーツへの興味・関心の向上や、障害のある人への理解を深める。 ・パラリンピック競技のトップアスリートの生き方について学び、夢・希望・感動との出会いや自己実現に向けての努力、困難に立ち向かう意欲等を育成する。 ・パラリンピック競技のトップアスリートとの交流を通じて、スポーツのすばらしさを実感し、夢や希望を持ち続けることができるようにする。
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・体験授業、講演会の実施計画立案 ・オンラインによる講演会実施への変更および計画立案 ・車椅子福祉体験（5年） ・高齢者疑似体験（5年） ・教育委員会との実施内容についての打ち合わせ <p>【オリンピック・パラリンピック教育推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピック競技のトップアスリートとのオンラインでの交流を通じて、スポーツのすばらしさを実感し、夢や希望を持ち続けることができるようにする。 ・パラリンピック競技のトップアスリートの生き方について学び、夢・希望・感動との出会いや自己実現に向けての努力、困難に立ち向かう意欲等を育成する。 <p>◇対象： 5年生、6年生 ◇予定： 2時間</p> <p>①3校時 5年生 オンラインによる講演 ②4校時 6年生 オンラインによる講演 ③講演 5年～6年生</p>

【振り返り】

- ・事後アンケートの実施
- ・ブラインドサッカーの体験



6 主な成果

- ・オンラインで話を聞くことが本校児童は初めてだったが、どの学級でも落合さんの話真剣に耳を傾けていた。落合さんがすぐ近くにいるように感じながら交流することができた。
- ・5年生は福祉について学習中なので、自分たちで学んでいることと関連付けながら聞くことができた。
- ・落合さんの話は、障害のあるなしに関わらず誰にでも通ずる話だったので、「自分だったら…」と置き換えて考えることができた。
- ・事後アンケートの感想には、児童一人一人が感じたことを書くことができた。その多くは、今の自分にもできることや頑張りたいこと、目標をもって夢に向かって頑張ることの大切さを記入することができ、充実した時間であったことがうかがえた。また、障害者スポーツへの興味を持った児童が多く、パラリンピックへの見方、考え方が変容した児童が多かった。
- ・講演会后、児童から「実際にブラインドサッカーを体験してみたい」という声が挙がったので、体験授業を計画しブラインドサッカーの体験をした。「思ったよりも難しかった」「歩くだけでも怖い」「サポートしてくれる声が本当に支えになる」などと、視覚障害者がどれだけ多くの努力を重ねているのかに気付くきっかけになった。
- ・落合さんの講演や体験を通して、夢や目標を持つこと大切さや、困難があっても諦めず、自分の夢に向かって立ち向かうこと大切さを感じることができた。また、スポーツが「人の心を動かす」ということを改めて考えることができた。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> • zoom を使用して各教室からオンラインで講演を聞いた。 • 講演を聞いた後、体育館でブラインドサッカーを体験した。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> • zoom を使用してのオンライン講演だったが、紹介 VTR がやや見にくかった。 • 今回は、1 学年ずつの講演となった。落合さんは同じ内容の講話を繰り返すことにもなるので、視聴に必要な機器が整えば、今後は全学年に広げて話を聞いたり、市内の学校で同時に進めたり、可能性が広がったと感じた。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> • 本校にブラインドサッカー用のボールやヘッドギアがあるので、パラリンピック教育や福祉教育でブラインドサッカーの体験の時間をとる。 • 来年度はオリンピック、パラリンピックイヤーとして体育委員を中心に盛り上げるイベントを企画する。